

# 地域循環共生圏 フォーラム2021

詳細版  
10/22  
最終更新

令和3年 **10月27日** (水) 9:30~17:20

## 概要

主催：環境省  
共催：and Beyond カンパニー  
(事務局NPO法人ETIC.)  
参加費：無料(事前申し込み制)  
定員：各分科会300名程度  
※Beyondミーティングのみ定員45名

## お申し込み・お問い合わせ先

【お申し込みフォーム】  
<https://chiikijunkan.jp/forum2021entry/>

※右のQRコードからもお申し込みいただけます

【申込期日】令和3年10月22日(金) 17:00

**10月25日(月) 17:00 まで延長**



- ◆開催日前に、お申し込みいただいたアドレスに参加URLを送付いたします。
- ◆マスコミ関係者の取材希望は下記シンポジウム事務局へご連絡ください。

【お問い合わせ】フォーラム事務局 いであ株式会社 高橋・安間  
Email [event@chiikijunkan.jp](mailto:event@chiikijunkan.jp)

## プログラム

9:30~ 10:00	オープニング「なぜ今こそ地域循環共生圏なのか」 株式会社風と土 阿部 裕志氏		
10:10~ 11:10	分科会① まずはここからスタート ～地域循環共生圏のはじめ方と地 域プラットフォームづくり～	分科会② 企業版ふるさと納税が気になるあ なたへ！活用方法を知ろう！	分科会③ 脱炭素は地域が命運を握る～地域 再エネを担う人材の拡大のために ～
11:20~ 12:00	関係省庁による地域循環共生圏づ くりに関連した事業・取組紹介①	関係省庁による地域循環共生圏づ くりに関連した事業・取組紹介②	関係省庁による地域循環共生圏づ くりに関連した事業・取組紹介③
13:00~ 14:00	分科会④ 地域課題をビジネスで解決する！ ローカルSDGsビジネスづくりの 最前線	分科会⑤ 地域と取り組むESG金融のススメ	分科会⑥ <sup>ひえき</sup> 地域に「裨益」する木質バイオマ ス事業を本気で作ろう
14:10~ 15:10  (分科会⑧は 15:40まで)	分科会⑦ 地域資源を活かした資源循環のま ちづくり実践例 ～生ごみを使った発電と熱利用か ら液肥まで～	分科会⑧ 企業と地域で持続可能なミライを 作る！～TCFDから考える地域と 企業の協働のあり方～  ※時間が変更となりました ※分科会⑧のみ15:40終了です	
15:20~ 16:20 (Beyond ミーティ ングは17:20 まで)	分科会⑨ 地域でお金を循環させよう！  ※時間が変更となりました	出張開催！ Beyondミーティング×地域循環共生圏フォーラム2021  ※このコマは15:20~17:20の2時間です。 ※登壇者ならびに参加者申込等詳細は裏面をご覧ください。	

◆Beyondミーティングとは  
and Beyond カンパニー(事務局NPO法人ETIC.)が運営する、組織・立場・世代を越えて誰もが参加できるゆるやかな社会変革コミュニ  
ティです。新しい価値創造や社会・地域課題に挑戦するアジェンダオーナーが数名登壇し、プレスト会議を通じて応援し、繋がり合  
います。毎月1回開催され、これまで345人が登壇し、3,333人以上が参加しています。  
参考：BeyondミーティングWEBサイト (<https://bm.andbeyondcompany.com/>)

<p>9 : 30 ～ 10 : 00</p>	<p><b>オープニング 「なぜ今こそ地域循環共生圏なのか」</b> 株式会社風と土と 阿部 裕志氏</p> <p>昨今、新型コロナウイルス感染症、気候変動など、社会・経済・環境の大きな変化の流れが起きています。社会の潮流に呼応する形でSDGsやカーボンニュートラル等の施策や目標が猛スピードで展開されていく中で、ローカルレベルで多様な主体が参画して環境課題の解決を目指すことの重要性や、地域循環共生圏に取り組む意味について、現在海士町で先進的に取り組まれている阿部氏からお話をうかがいます。</p>
<p>10 : 10 ～ 11 : 10</p>	<p><b>分科会①まずはここからスタート～地域循環共生圏のはじめ方と地域プラットフォームづくり～</b> 登壇：鶴岡市三瀬地区自治会 石塚 慶氏、（一財）地域活性化センター 吉弘 拓生氏、地球環境パートナーシッププラザ 江口健介氏</p> <p>地域をよりよくしたい。でも何からはじめれば良いだろうか？何に気を付けたら良いだろうか？何を参考にしたら良いだろうか？地域のビジョンや目指す将来像を上手く伝え合うには？地域循環共生圏づくりに取り組み始めた地域やこれから取り組みたい地域の様々な疑問に答える入門編の分科会です。地域循環共生圏を始めたい、スタートを知りたい地域の方におすすめです。</p> <p><b>分科会② 企業版ふるさと納税が気になるあなたへ！活用方法を知ろう！</b> 登壇：内閣府地方創生推進事務局、熊本県、九州電力（※10/22 登壇者情報を追加しました）</p> <p>最近よく耳にする内閣府の企業版ふるさと納税について、改めて聞きたい！使ってみたい！という方に向けて、内閣府担当者による制度の説明や、実際に人材派遣制度を活用して取組を進めている地域と企業によるご紹介を行います。なぜ地域と企業が一緒に取り組むことになったのか、一緒に取組んでみてどうか、きっかけやお互いの考えを深掘りします。</p> <p><b>分科会③ 脱炭素は地域が命運を握る～地域再エネを担う人材の拡大のために～</b> 登壇：一般社団法人ローカルグッド創成支援機構 稲垣 憲治氏</p> <p>地域で再エネを進めたい！でも地域が元気になる方法で再エネを発展させるにはどうしたらいいのでしょうか？今後どのように地域で進めていく必要があるか、どのような人材を育成していく必要があるのか、地域での再エネの先進事例からご紹介いただきます。地域での再エネ導入を検討している自治体、企業に向けた分科会です。</p>
<p>11 : 20 ～ 12 : 00</p>	<p><b>関係省庁による地域循環共生圏づくりに関連した事業・取組紹介①、②、③</b> 登壇：金融庁、総務省、文部科学省、農林水産省、林野庁、国土交通省、観光庁 ※発表予定については次ページに記載しています。</p> <p>各省庁から、環境省ローカルSDGsと連携している事業や取組事例をたくさんご紹介します。各省庁のご担当者へ気軽に質問いただけるよう質疑応答の時間も設けています。地域循環共生圏の視点を持って事業に取り組みたいと思っている方、今後の事業で補助金活用を検討されている方、ぜひこの場をご活用ください。※各省庁の発表は3つのルームに分かれています。各ルームの詳細はお申し込みいただいた方にお送りいたします。</p>
<p>13 : 00 ～ 14 : 00</p>	<p><b>分科会④ 地域課題をビジネスで解決する！ローカルSDGsビジネスづくりの最前線</b> 登壇：株式会社ボーダレス・ジャパン 半澤 節氏</p> <p>社会課題・地域課題の解決ってお金にならないのでは・・・？そんな皆さんの疑問に、課題からビジネスを生む仕組みづくりの専門家がお答えします。ソーシャルビジネスの基本や具体事例、地域で実践できるヒントをご紹介いただきます。地域課題を解決できるビジネスにチャレンジしたい方、ビジネスを起し始めた方におすすめです。</p> <p><b>分科会⑤ 地域と取り組むESG金融のススメ</b> 登壇：栃木銀行、環境省大臣官房環境経済課環境金融推進室</p> <p>令和2年に環境省から「ESG地域金融実践ガイド」が公表され、注目されつつあるESG地域金融。既に取り組んでいる金融機関が登壇し、地域と金融機関とが協業して進める上でのポイントや、協業を進める上での壁をどう乗り越えたかなど、実際の取組事例をもとにお話しいただきます。地域と金融機関と一緒に頑張る必要性は理解しているけど実際何をしたら良いか分からない…という皆様、今まさに地域⇄金融機関の関わり方に悩んでいる皆様、本分科会でヒントを見つけてみてください。</p> <p><b>分科会⑥ 地域に「裨益」する木質バイオマス事業を本気で作ろう</b> 登壇：一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会 加藤 鐵夫氏</p> <p>再生可能エネルギーの中でも「地域に裨益（ひえき）する再エネ」として事業化しやすいのが木質バイオマスと言われていますが、そもそも地域に「裨益」するとはどういうことでしょうか。地域の経済・社会・環境に本気でコミットする「木質バイオマスエネルギー事業」を立ち上げる上でのポイントや地域の方が知っておくべきことなどについて、専門家から事例とともにご紹介いただきます。木質バイオマス事業を詳しく知りたい方、自分の地域で木質バイオマス事業を立ち上げたいと考えている方、必見です！</p>
<p>14 : 10 ～ 15 : 10</p> <p>※ 分科会⑧ は15 : 40 まで延長</p>	<p><b>分科会⑦ 地域資源を活かした資源循環のまちづくり実践例 ～生ごみを使った発電と熱利用から液肥まで～</b> 登壇：福岡県みやま市環境経済部環境衛生課 松尾 和久氏</p> <p>みやま市では、資源としての「生ごみ」に着目し、発電だけではなく熱利用や液肥にまで活用して循環型のまちづくりを実践しています。本分科会では、みやま市でバイオマスセンター「ルフラン」を設営するまでに至った経緯や課題、運営方法、「ルフラン」を起点とした取組の更なる発展についてご紹介いただきます。地域資源を活かした資源循環の具体事例を知りたい方におすすめです。</p> <p><b>分科会⑧ 企業と地域で持続可能なミライを作る！～TCFDから考える地域と企業の協働のあり方～</b> 登壇：鹿島市、岐阜プラスチック工業株式会社、株式会社商船三井（※10/22 登壇者情報を追加しました）</p> <p>2050年のゼロカーボン実現やTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の流れを受けて、国内企業の気候変動対策も急速に進み始めています。気候変動対策においては企業と地域はどう協働していけるのでしょうか。既存の関係性にとらわれない新たな視点や方向性を探るべく、企業と地域が本音の意見交換を行います。地域⇄企業の協働に興味のある方、ぜひご参加ください。</p>

<p>15:20 ～ 16:20</p>	<p><b>分科会⑨ 地域でお金を循環させよう！</b> 登壇：龍谷大学 政策学部 深尾 昌峰 教授</p> <p>地域循環共生圏の構築には、様々な地域の資源の有機的な結合、地域に住む生活者との連携など私たちの社会を作りかえていく上では、地域が総力をあげて取り組んでいく必要があります。その中で、資金も重要になってくるのですが、地域資源の結節点や生活者との接続という観点でファイナンスをとらえ、地域循環共生圏実現に必要なファイナンスにおける社会技術とは何かを一緒に考えていきたいと思います。</p>
<p>15:20 ～ 17:20</p>	<p><b>出張開催！ Beyondミーティング×地域循環共生圏フォーラム2021 【定員45名】</b></p> <p>地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業の令和元年度～令和3年度の採択団体・地域から3名が登壇し、今取り組んでいるプロジェクトの3分間のピッチ登壇を行った後、登壇者・参加者がテーマごとにブレイクアウトルームに分かれてプレスト会議を行います。社会・地域課題解決や新しい未来づくりに関わりたいといった意思をお持ちの方であれば、どなたでも参加いただけます。批判やアドバイスではなく「いいね！」「おもしろいね！」が飛び交う場、相互に繋がり合える場を一緒に作りましょう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○『<b>北海道のサステナビリティを、教育旅行や企業研修でシェア&amp;アップ！</b>』 余市町観光地域づくり協議会／NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト 坂本 純科氏</li> <li>○『<b>竹を食べて・使って、里山保全</b>』 SDG s パンププロジェクト推進フォーラム／（一社）九州循環共生協議会 山村 公人氏</li> <li>○『<b>結いツーリズム 集落-人-自然を結ぶ”感幸”</b>』 徳之島町地域おこし協力隊 福本 慶太氏</li> </ul> <p><b>【Beyondミーティングへの参加方法】</b> Beyondミーティングへの参加希望の方は、<b>以下リンクよりお申込みください（別途お申し込みが必要です）。</b></p> <p><b>参加お申し込みページ：</b> <a href="https://ceef2021-bm.peatix.com">https://ceef2021-bm.peatix.com</a></p> <p>※定員になり次第締め切りとさせていただきます</p>

### 関係省庁による地域循環共生圏づくりに関連した事業・取組紹介 詳細

省庁名	発表予定事業名
金融庁	・「地域課題解決支援チーム」による地域経済エコシステムの取組
総務省	・分散型エネルギーインフラプロジェクト ・ローカル10000プロジェクト
文部科学省	・COIプログラム ・共創の場形成支援プログラム
農林水産省	・新しい農村政策と関連施策について ・ディスカバー農山漁村の宝 ・INACOME（イナカム）
林野庁	・木質バイオマスのエネルギー利用の方向性と関連予算について (地域内エコシステム構築モデル事業、木質バイオマス利用促進施設整備) ・森林サービス産業について
国土交通省	・グリーンインフラ官民連携プラットフォーム
観光庁	・アドベンチャーツーリズム等の新たなインバウンド層の誘致のための地域の魅力再発見事業 ・城泊・寺泊による歴史的資源の活用事業 ・来訪意欲を促進させるためのオンライン技術活用事業

